

企画展 北斎 - 永田コレクション名品展

2020/9/26 (土)~11/23 (月・祝)

前期：9/26 (土)~10/26 (月)、後期：10/28 (水)~11/23 (月・祝)

※ほぼ全ての作品が前期と後期で入れ替わります。津和野藩伝来作品は約2週間ごとの展示替えとなります。



《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》天保初期(1830~34)頃【前期展示】



《富嶽三十六景 凱風快晴》天保初期(1830~34)頃【後期展示】
※掲載画像は全て島根県立美術館蔵(永田コレクション)

稀少な作品の数々で世界中の美術ファンを魅了する永田コレクション 島根県への寄贈後、石見で待望の初公開！

江戸時代後期の浮世絵師、葛飾北斎(1760~1849)は、国内外で最も高く評価されている日本の絵師の一人です。90年に及ぶ生涯の中で、《富嶽三十六景》などの風景版画で一世を風靡したほか、読本(文章が主体の長編小説)の挿絵や肉筆画など、多種多様なジャンルの作品を生み出しました。

北斎に関する個人コレクションの中で、質、量ともに世界屈指の水準を誇っているのが、島根県津和野町出身の北斎研究者、永田生慈氏(1951~2018)が蒐集した作品群です。総数2,400点近い「永田コレクション」は、2017年度に島根県へ一括寄贈されました。

当館開館15周年を記念する本展では、「永田コレクション」の主要な作品約330点を前期・後期に分け、北斎の生涯と画業を紹介します。同コレクションが島根県へ一括寄贈されてから、本県西部では初公開となります。また、津和野藩主・亀井家に伝わった摺物(主に私的目的で少数部制作された稀少な版画)も紹介します。

【開館時間】 9:30~18:00 (入館は17:30まで)
【休館日】 毎週火曜日(ただし11月3日は開館)、11月4日(水)
【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ
【特別協力】 島根県立美術館
【後援】 芸術文化とふれあう協議会
【問合わせ】 島根県立石見美術館 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15
島根県芸術文化センター「グラントワ」内
TEL0856-31-1860 FAX0856-31-1884 <http://www.grandtoit.jp>
担当：吉岡(よしおか/広報)、田原(たばら/広報)、角野(すみの/学芸)、川西(かわにし/学芸)

デビューから最晩年まで、画業全体を見通すチャンス！
多彩な作品により、北斎の魅力を味わいつくそう

19歳

貴重な錦絵
デビュー作

《四代目岩井半四郎 かしく》
安永8年(1779)
【前期展示】

※錦絵:多色刷りの木版画。量産が可能。



33歳頃

若き日に名乗った「春朗」サインがある、現存唯一の肉筆画

《鐘馗図》
寛政5~6年(1793~94)
【前期展示】

※肉筆画:絵師の直筆による、1点ものの絵画。



津和野藩の殿様の北斎コレクション

津和野藩主、亀井家には「摺物」とよばれる、彫りや摺りにこだわった限定品の版画が多数所蔵されていました。その中の北斎に関する作品を津和野出身の永田生慈氏が入手し、島根県に寄贈したこのコレクションは、まさに「島根の宝」といえるでしょう。

37歳頃

当時の色彩
がよくわかる、
抜群の
保存状態

《楊貴妃、小野小町、蓮華女》
寛政9年(1797)頃
【展示期間:9/26~10/12】



54歳

世界中で愛される、北斎絵本の決定版

『北斎漫画』(初編・初摺本)
文化11年(1814)
【通期展示(ページ替えあり)】
※掲載図版は展示ページと一致しない場合があります。



87歳

画境の高みを目指し続けた最晩年の傑作

《赤壁の曹操図》
弘化4年(1847)
【後期展示】



71歳頃

こわい！
けれど、どこか
ユーモラス...
これぞ化物絵

《百物語 こはだ小平二》
天保2~3年(1831~32)頃
【後期展示】

